



学校便り

# うこっ子

「自分の思いや考えを表現できる」うこっ子

創立 143 周年

阿久根市立大川小学校

TEL 74-0007

令和5年 7月号

校長 中能 健尚

## いじめは人間として許されない！

今も、いじめ発生の報道は後を絶たず、いじめは、どの子にとっても、どの学校においても、深刻な問題です。

学校の役割は、子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境を整えることであると考えます。本校では、全職員が、「いじめはどここの学校でも起こりうる」ということを認識し、「いじめは人間として絶対に許されない」という毅然とした姿勢をもち、子どもを語る会（生徒指導、いじめ防止対策委員会）を設置して、いじめ防止に取り組んでいます。

いじめ防止のためには、何よりも思いやりの心を育てることが大切です。本校では、思いやりの心を育てるために、あいさつや靴箱の整頓に力を入れています。とくに、だれに対しても明るくあいさつができることや、相手の目を見てあいさつができることに重きを置いて指導しています。靴箱の整理にしても、自分の物だけではなく、友だちの靴が乱れていたから直してあげられるような心にまで高めたいと考えています。

薩摩藩の郷中（ごじゅう）教育の中で、最も大切とされた教えが、「うそを言うな。負けるな。弱い者をいじめるな」という訓えでした。短い言葉ですが、人間としての生き方の基本について端的に言い表しているように思います。「うそを言うな」とは、正直に生きること。「負けるな」とは、相手に負けるなとともに、自分自身に負けるなということ。「弱い者をいじめるな」はその言葉どおりで、いじめをせず協力して助け合って生きていくことです。

これらのことを子どもたちに身に付けさせるには、先生方と保護者の方々が同じ考えのもとで指導に当たることが大切ですので、ご協力をお願いします。

また、今後もしじめ防止にかかわる最新の情報を学校だより等でお知らせしてまいります。地域等でいじめを発見したり聞いたりしたときには、どんな些細なことでも学校にご連絡をいただきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いします。また、夏休み中の子どもたちに対して、それぞれの立場で、「手かけ」「目かけ」「声掛け」をよろしく願いいたします。

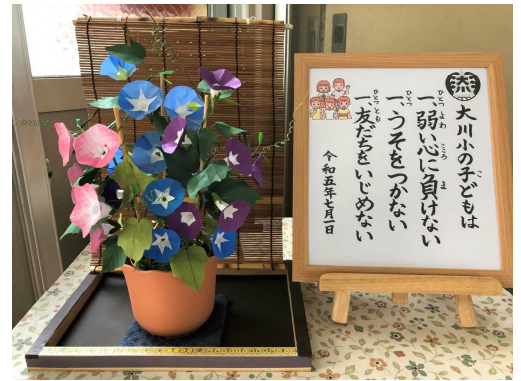
16人全員の元気な笑顔を楽しみにしています。

## ～ 校長室の窓から ～

校長室の出入り口には、「毎週のクイズコーナー」と「季節を感じるコーナー」を設置しています。「クイズコーナー」では、子どもたちに「考える」楽しさを味わってほしいと2年前から取り組んでいます。クイズによっては、低学年の子どもには、難しいかも知れませんが、子どもたちの楽しく考えている姿に喜びを感じています。また、「季節を感じるコーナー」では、毎月の季節の風景（手ぬぐい）を飾ったり、折り紙で作った季節の風物詩を飾ったり、子どもたちへのメッセージを墨で書いて贈ったりしています。メッセージについては、登校時や下校時に読んで帰る子どももいます。ちなみに、6月のメッセージは、  
「笑顔」

「泣いて一日、怒って一日、悩んで一日。どうせ同じいちになら笑って一日」でした。

子どもたちには、毎日、笑顔で過ごしてほしいです。



【校長室の窓（7月）】

## 【頭の体操】

☆何と読む？

① 9 t



※問題「サブリ文字ドリル」  
(2005年12月発行)を参考

